

行田市中心市街地の再整備に向けて

令和7年10月15日（水）
行田市内企業向け官民連携勉強会

現在の 地域地区等	用途地域：第一種住居地域
	建蔽率：60%
	容積率：200%
	防火地域：指定なし

忍小学校	敷地面積：約16,000㎡
忍中学校	敷地面積：約22,000㎡

現在の 地域地区等	用途地域：第一種住居地域
	建蔽率：60%
	容積率：200%
	防火地域：指定なし

南小学校	敷地面積：約18,000㎡
------	---------------



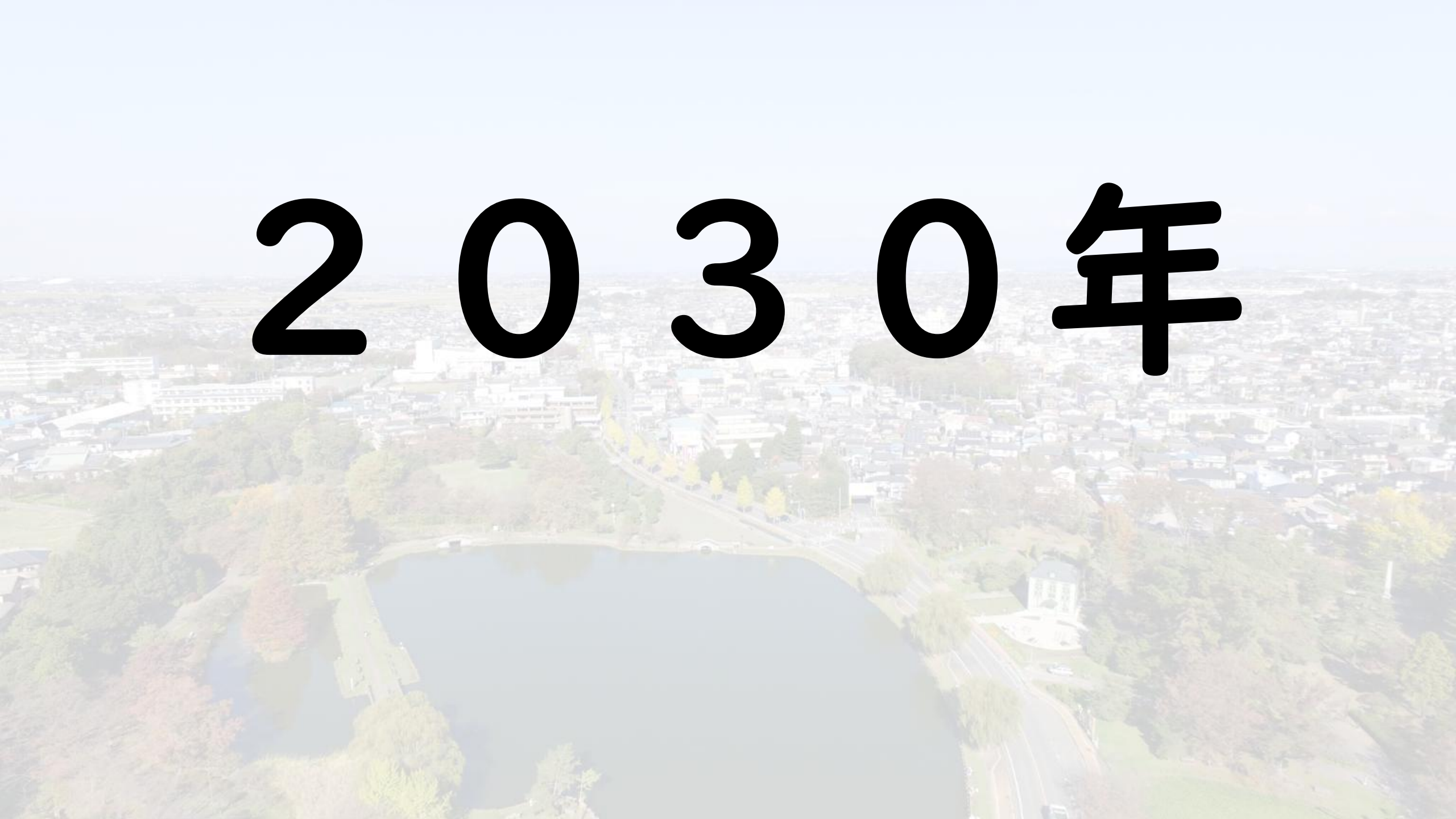
現在の 地域地区等	用途地域：第二種住居地域
	建蔽率：60%
	容積率：200%
	防火地域：指定なし

市役所	敷地面積：約5,200㎡
産業文化会館	敷地面積：約8,700㎡
県地方庁舎 ※県所有	敷地面積：約4,500㎡

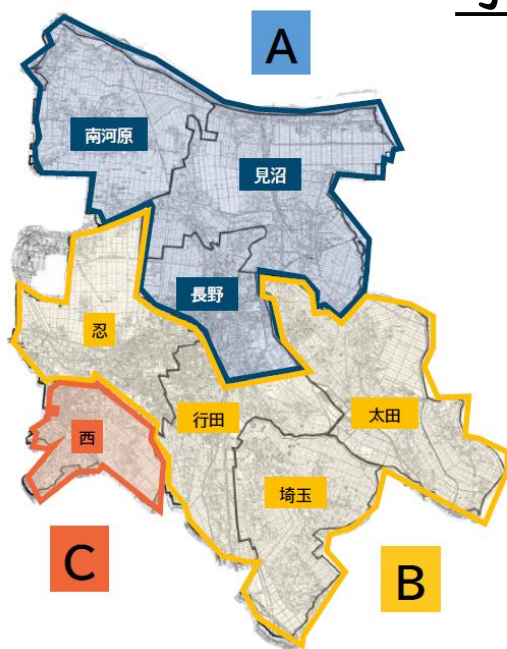
水城公園内

市民プール	敷地面積：約5,600㎡
児童センター コミュニティセン ターみずしろ	延床面積：約2,000㎡
きっずプラザあおい	延床面積：約200㎡

2030年



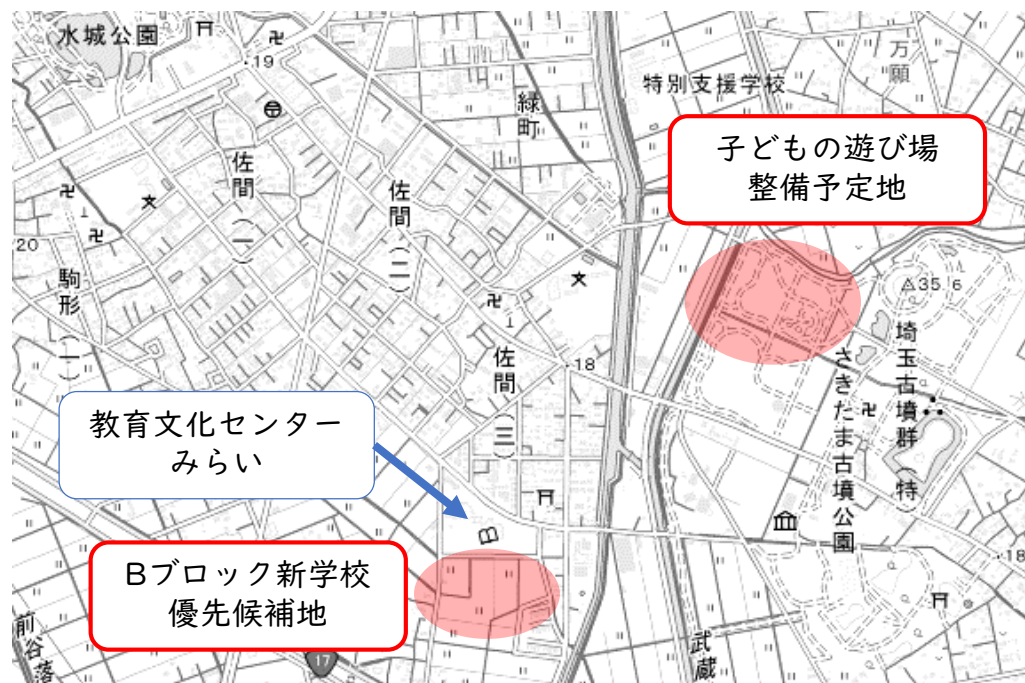
学校再編



(計画)

- Aブロック新校 2032年開校
 Bブロック新校 2030年開校
 Cブロック新校 2034年開校

【Bブロック対象校】



出典：国土地理院HP

子どもの遊び場

行田市基本構想において

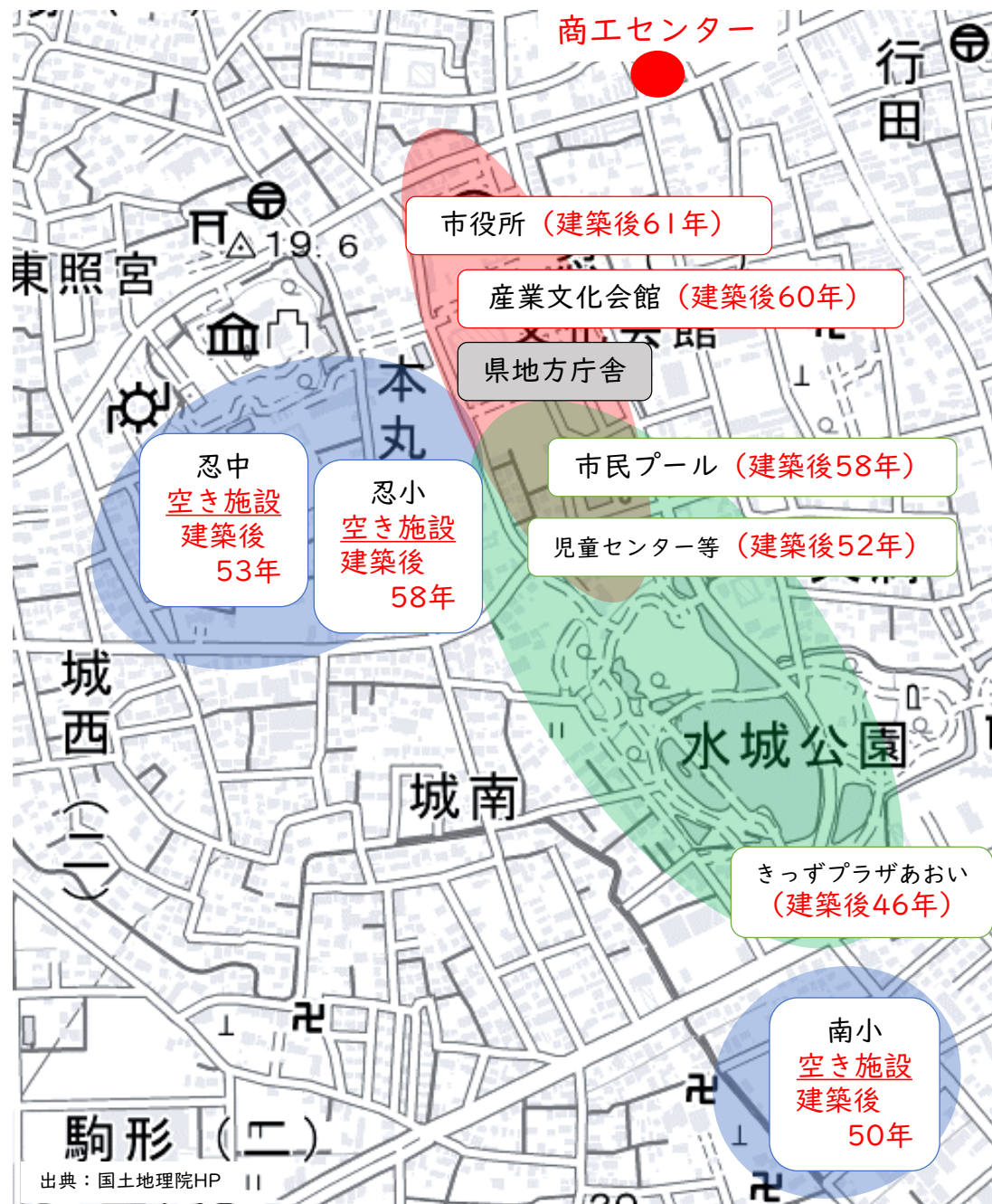
「公園等の遊具の充実や、室内の子どもの遊び場整備など、子どもや親子連れが安心して遊べる場の充実により、魅力ある子育て環境を提供する。」

行田市×埼玉県 協定締結

さきたま古墳公園（県管理）内において、子どもの遊び場の整備に向け、協議を行う。

2029年中オープン

PFI等の官民連携を基本理念



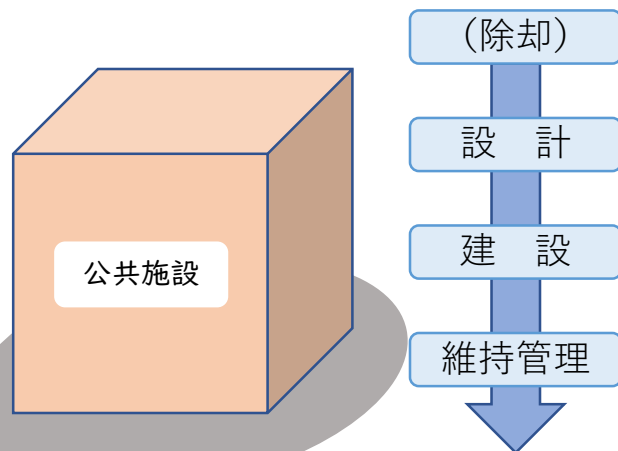
2030年時点

- 忍小学校・忍中学校
 - 南小学校
- 4月以降、空き施設に
-
- 市役所
 - 産業文化会館
(市民ホール)
- 建築後60年を経過
建替えのタイミング

建替える際には、公共施設の集約・複合化を検討

- 新市役所イメージ
現市役所に加え、他の地域・建物に設置されている、子ども家庭センターや都市整備部などを統合
- 新市民ホール
規模は今後の検討 ※現在のホールは1,000席程度
- 新複合施設
学童保育室、コミュニティセンターなどを複合化を検討

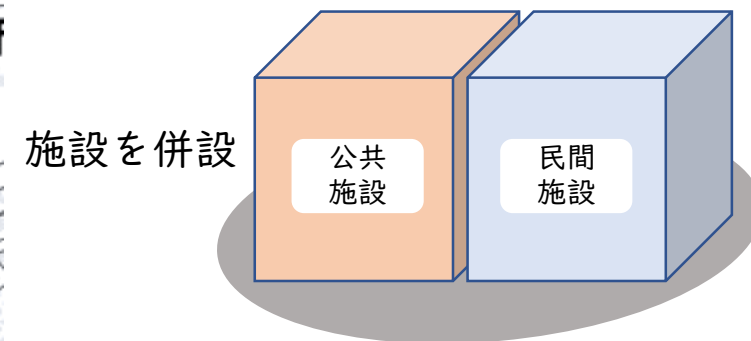
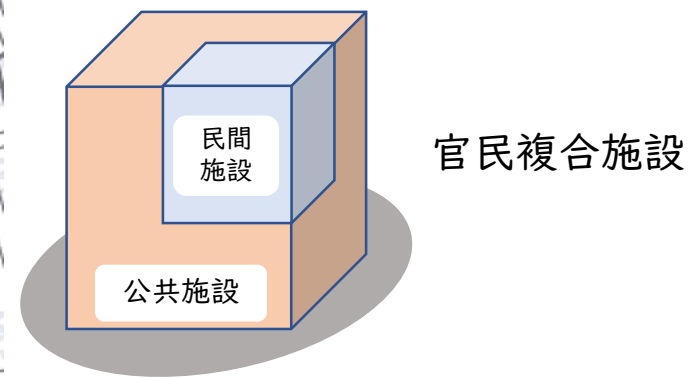
新市役所等の建設



PFIやDBOなどの
公共施設を建築するシーンでの
官民連携



空き施設・土地の活用



R12

市が公共施設を整備する際に、
原則として、PPP/PFIの官民連携
手法を導入することを明示

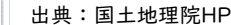
Bブロック
新学校開校



中心市街地の活性化
(経済的チャンス創出と市民の利便性向上)
のために、

どのように
公共施設や民間施設を
組み合わせて整備していくべきか。

どのような民間事業が
このエリアで展開できるか。



- 中心市街地の価値向上に向けて、
どのような民間ビジネスと連携していくことが
できるでしょうか。

本資料は、行田市内企業向け官民連携勉強会におけるグループワーク等を目的に作成したものであり、まだ確定していない情報を含んでいることを予めご承知おきください。

中心市街地の再整備に向けた情報については、今後、市のホームページ等で適宜発信していきますので、そちらをご確認ください。

本資料上の情報は、作成時点の情報等に基づいており、将来的に変更される可能性があります。

<作成>

行田市 総合政策部 公共施設再編・まちづくり準備室

☎ 048(556)1111 内線302

✉ shisetsu-machi@city.gyoda.lg.jp